

第8回 Orthomyxovirus Research Conference : Young Flu 参加報告

(2018年9月12日～14日, ベトナム・ハノイ)

山吉誠也

東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野特任准教授

2018年9月12日から14日にベトナム・ハノイにて開催された第8回 Orthomyxovirus Research Conferenceに参加した。Orthomyxovirus Research Conferenceは2001年に初開催され、その後2～3年に一度開催される若手のインフルエンザウイルス研究者を対象にした研究会である。今回のConferenceには、フランス、オランダ、オーストラリアを中心に、アメリカ、シンガポール、香港、韓国な

どからポスドクや大学院生など約70名の若手研究者が参加していた。世界的に有名な3名のインフルエンザウイルス研究者の基調講演が各日の最初のセッションに組み込まれ、講演時間12分もしくは4分の一般口演67演題の発表が、研究内容により振り分けられた各セッションにおいて行われた。つまり、ほぼすべての参加者が口頭発表を行ったことになる。

基調講演は、開催地にあるベトナム

国立衛生疫学研究所のLe Thi Quynh Mai博士による“ベトナムにおけるH5亜型の鳥インフルエンザウイルスの疫学調査”，オランダにあるエラスムス大学医療センターのRon Fouchier教授による“動物からヒトに感染する恐れのあるH5N1亜型やH7N9亜型の鳥インフルエンザウイルスの感染伝播”，香港大学のLeo Poon教授による“次世代型インフルエンザワクチンや複数の亜型のHA蛋白質に交叉反



写真1 第8回 Orthomyxovirus Research Conference : Young Flu の会場